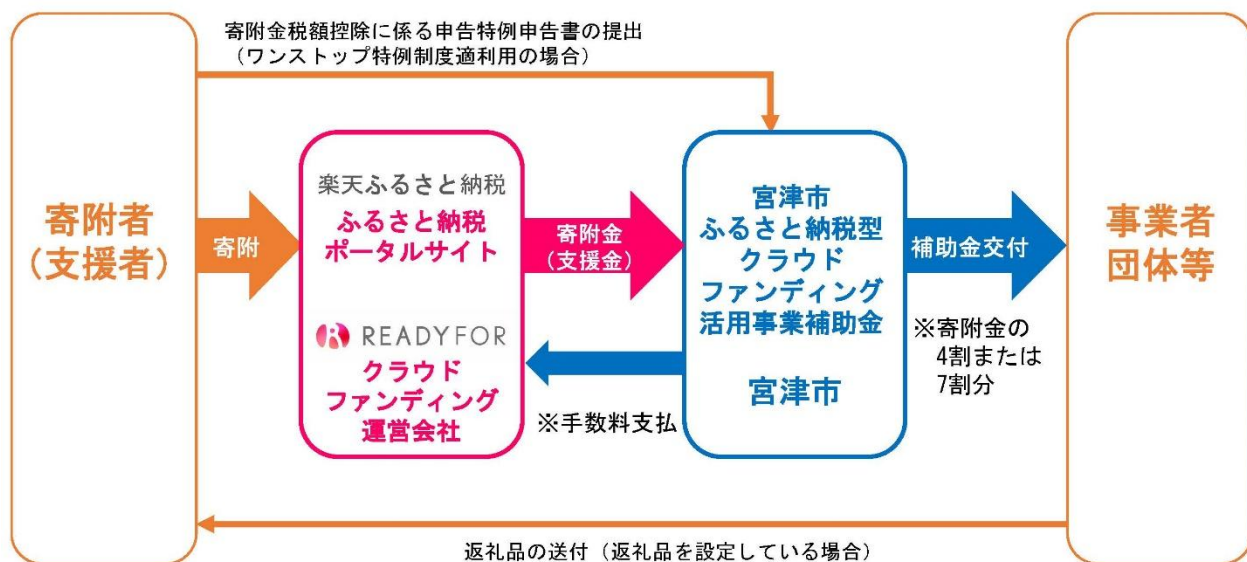


ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金

クラウドファンディングで集まった寄附金でプロジェクトを支援！

制度の概要

新たな特産品づくり、新しいビジネスを創出する事業や、地域の活性化に資する取組み等に対し、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより集まった寄附金を原資に、補助金を交付する制度です。



制度の特徴

- ①ふるさと納税の仕組みにより **寄附者は税控除を受けることができる！**
通常のクラウドファンディングだけでなく、ふるさと納税にも興味がある方に寄附を呼びかけられ、寄附者層が広がります！
- ②市のHPやSNSで取り組みを広く発信できる！
アイデア次第で、**より広く宣伝することが可能！**
- ③事業実施前から地域と関わるチャンスが生まれ、**ファン (支援者) づくり**にも繋がります！
- ④「市場の評価」を取り入れた支援！ **市場評価が高ければ、支援額の増額も！**

募集期間：令和8年6月1日(月)～12月25日(金)

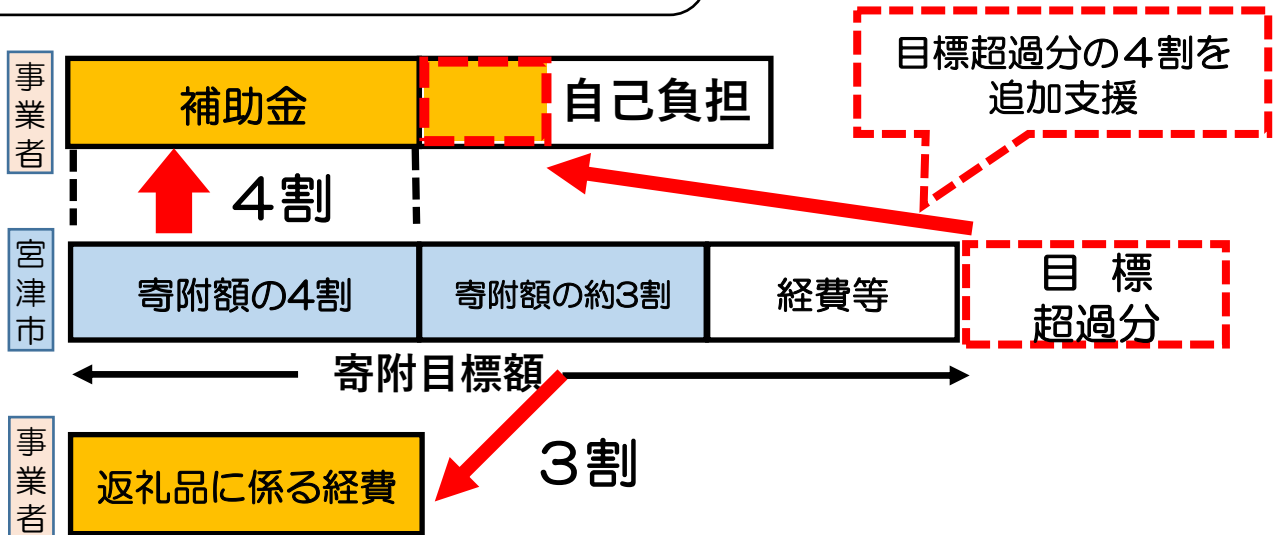
制度の内容

事業区分	補助対象事業	補助金の額等
①ふるさと納税返礼品開発事業	ふるさと納税返礼品となる商品を開発する取組み 創業や事業拡大等の取組み	寄附額の 10分の4 (※)
②事業者支援事業	(例) 創業、起業、事業継承 事業拡大に向けた設備投資等	寄附額の 10分の7
③まちづくり事業	宮津市の知名度の向上や地域活性化、地域課題の解決等の取組み (例) 音楽、スポーツイベント 子育てや地域づくり など	

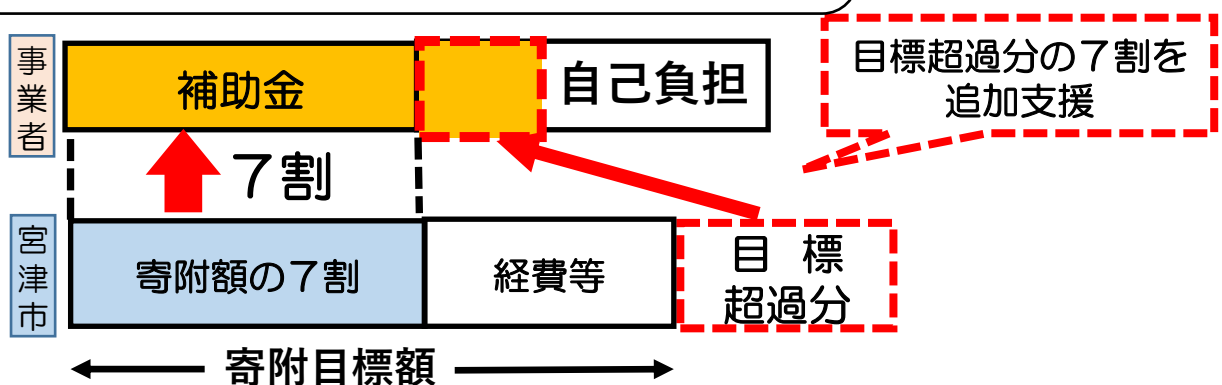
(※) 別途、寄附額の10分の3相当を、返礼品の購入代金として事業者に支払います

制度イメージ

①ふるさと納税返礼品開発事業



②事業者支援事業、③まちづくり事業



活用事例

①ふるさと納税返礼品開発事業

新規返礼品の開発

(例) ご当地クラフトジン開発



既存返礼品の改良・生産拡大

(例) 干物(既存商品)の冷凍版開発
イチゴの生産拡大(機械導入)



②事業者支援事業

創業・起業

(例) 空き家を活用した宿泊施設
地元産の食材を使った飲食店



新分野への進出

(例) キッチンカーの導入



③まちづくり事業

地域の課題解決

(例) 牡蠣殻堆肥の米づくり支援
SDGs普及プロジェクト



まちづくり、イベント

(例) 音楽・文化イベントの実施
母校支援



制度活用の流れ

① 事業計画の相談・申請

② 寄附目標額の設定、サイト掲載内容の検討

補助希望額を設定し、これを基に「寄附目標額」を設定
※寄附目標額＝補助希望額を補助率等（0.7又は0.4）
で割り戻した額

「補助希望額」は、
補助対象経費の1/3
から2/3の範囲で自
由に設定可能

③ 寄附金募集（サイト掲載 ⇒ 寄附を募集）

④ 寄附目標額の達成 ⇒ 補助金の交付決定

⑤ プロジェクトの実施
（設備投資、返礼品生産、まちづくり活動等）

⑥ プロジェクトの完了 ⇒ 補助金の交付

原則寄附目標達成
後に事業着手

詳細な資料

宮津市ホームページをご覧ください

<https://www.city.miyazu.kyoto.jp/soshiki/9/21892.html>



詳しくはコチラ

問合せ先

○ 補助制度のお問い合わせ

・ふるさと納税返礼品開発事業、事業者支援事業
宮津市 産業経済部 商工観光課 商工係（TEL45-1663）

・まちづくり事業
宮津市 企画財政部 企画課 企画政策係（TEL45-1664）

○ ふるさと納税全体のお問い合わせ

宮津市 企画財政部 移住定住・魅力発信課 魅力発信係（TEL45-1609）